

地震がりの一年

佐々原平

2004年十月三日、ほしは、ツバメ雨  
のフンビニりました。たゞそのはし  
たかと言おうと、巻のおはまちんか「もちぢ  
のいたから、とりとおいで」と電話をしてオ  
たかからず。ほくは地震が来た時、初めに  
いた弟の手をつかみました。ゆねがおさまる  
と、いそいで駐車場に出ました。駐車場に出

てから、少したつと、おはまちんの家にい  
きました。おばまちんの家では、ミナじ  
ょうぶが小屋の中にいました。ほくは、おば  
まちんの家で一日すまして、父の曰がえりま  
した。学校が一週間休校になりました。その  
間、なんじもふしでおいろかさおました。  
いしと後ぼじめて学校にいった日に大きな  
雨がおりました。その日は半日外にいました。  
いま長岡は、だんだん復こしてきてました。  
ここから、もぢにかあつた時は、力をあおせて  
かたばつていきなさいです。